

出水養護学校中学部の文化財探訪の取組

1 学校名

鹿児島県立出水養護学校

2 学年・人数

中学部 2年1組・3組・5組 14人

3 日時・場所

(1) 学習の期日・場所

- ・ 学習：平成28年6月13日～20日 総合的な学習の時間
- ・ 文化財ウォッチング：平成28年6月14日（火）
箱崎八幡神社，出水武家屋敷群 竹添邸・税所邸
- ・ 発表資料作成：平成28年6月16日～17日

(2) 発表の日時・場所

平成28年6月20日（月）

鹿児島県立出水養護学校 中学部 総合的な学習発表会

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ア 箱崎八幡神社（はこざきはちまんじんじゃ）：室町時代
- イ 出水武家屋敷群（いずみぶけやしきぐん）：安土桃山時代

(2) 特徴

ア 箱崎八幡神社

島津家の始祖，島津忠久が建立した。その後，豊臣秀吉により出水の地が没収され，神社も取り壊されるが，その後再び出水が島津家に与えられ，神社も再興された。平成10年，今上天皇御在位10年の記念事業として日本一の大鈴（高さ4m，直径3.4m，重さ5トン）と神門が竣工された。敬宮愛子様御誕生記念として建てられた宝物鈴殿には，世界一小さい鈴も納められている。

イ 出水武家屋敷群

出水麓（ふもと）は，出水郷に赴任する薩摩藩士の住宅権陣地として1599年（慶長4年）から30年かけて整地された。薩摩藩内でも最大規模を誇り，他の武家屋敷は出水に倣ったと言われている。肥後国との国境の町として，藩の防衛上非常に重要な町であり，たくさんの藩士が郷土として住み，防衛の任に当たった。平成7年に国の重要伝統的建造物保存地区に指定され，現在は，税所邸，竹添邸，武宮邸の一部が公開されており，竹添邸は大河ドラマ「篤姫」のロケ地にもなった。

5 保存会や地域との連携の具体

総合的な学習の時間に「探検！発見！出水！～学校周辺の施設について学習しよう～」というテーマで調べ学習を行った。出水市役所職員の講話を聞いた後，生徒は学校周辺にある施設について調べたり，現地へ行き質問をしたりして発表資料を作成した。訪問の際には，箱崎八幡神社や出水市観光協会の方と事前に打ち合わせを行い，趣旨や見学の方法について確認を行った。

6 活用の取組の工夫した点

本校中学部は、6月に1週間全て総合的な学習の時間が設定されている週がある。学年ごとにテーマを決め調べ学習や体験学習を行い、調べた内容を広幅用紙や画用紙にまとめ、学習の最後の時間に発表している。生徒がより興味関心をもって活動できるように事前に文化財について調べ学習を行い、質問を考え、見学に行った際に確認するという流れで行った。また、発表の際には、発表を聞いた人が「自分も行ってみよう」と思えるように、地図や写真を使って、わかりやすく見やすい発表資料作りを心掛けた。

7 取組の様子



「箱崎八幡神社」



「出水武家屋敷（税所邸）」

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【生徒】

ア 箱崎八幡神社

- ・ 世界一大きな鈴と世界一小さな鈴が同じ神社にあることにびっくりした。
- ・ 室町時代に建てられたことに驚いた。
- ・ 神社で質問や体験ができて楽しかった。宮司さんが質問に優しく答えてくれたのでうれしかった。

イ 武家屋敷

- ・ 刀や甲冑を身につけることができ楽しかった。
- ・ 昔の家には、抜け道や身を守る槍が置いてあって、すごいと思った。
- ・ 座る場所が決まっているなど、家の中に色々なルールがあって大変だと思った。

【教師】

「百聞は一見に如かず」で、調べ学習で調べて知っていることも実際に見ると新鮮な反応をしていた。慣れ親しんだ学校内の人ではなく、地域の方の話を聞いたり、質問したりすることは生徒たちのよい経験になったと思う。最後の発表で、調べたことを発表する姿は、堂々として自信に満ちあふれていた。

【地域の方】

出水の地に昔からある史跡に触れることは、自分の住んでいる地域を大切に思う気持ちを育むことに繋がる。この学習を通じて学んだことを生かし、今後もこれらの史跡を守り継承していく気持ちを育ててほしい。